

札取る速さ、園児歓声

川崎名人夫妻かるた披露

保第二中央社

福井市の社中央保育園 かるた会が17日、同園で開かれ、同第二保育園の新春か



園児が見守る中、模範試合を披露する川崎名人（手前左）と岩堀七段（17日、福井市運動公園1丁目の社中央第二保育園（杉本拓磨撮影）

勢初の名人位を獲得した福井渚会の川崎文義八段（27）と、妻の岩堀聡美七段（29）ともに越前市IIが模範試合を披露。目にも止まらぬ速さで札を取り合う技に、園児が歓声を上げていた。

本格的な競技かるたに触れてもらおうと川崎名人と岩堀七段を招いた。札を前に二人が対峙すると空気が張り詰め、園児にも緊張感が伝わった様子。鋭い払い手で札を数枚飛ばしたり、豪快に何枚もの札を払ったりするたびに、園児は驚きの声を上げ、迫力ある試合に引き付けられていた。

水野遥翔（はるか）ちゃんは試合を見て「とにかく速くてすごい。僕もいつか名人になりたい」と興奮気味に話していた。

模範試合に先立ち、4歳児は「ことわざかるた」、5歳児は百人一首の試合が行われた。この日は、各園のトーナメント戦を勝ち抜いた園児16人が参加。真剣な表情で並べた札を見つめ、「はいっ」と大きな声とともに、狙った札に手を突き出していた。（川上桂）